

ベリサインのワンタイムパスワードにより TCO を削減し、顧客満足も向上



応用リソースマネジメントは、顧客に提供している SaaS の認証にワンタイムパスワード (OTP) を利用していましたが、その品質や運用に課題があったため、改善策を検討することになりました。複数のベンダーやソリューションを信頼性、実績、トータルコストなどの視点から比較検討した結果、ベリサインの OTP の導入を決定し、安定したサービスの提供を実現しました。

以前導入していたワンタイムパスワードの問題点を ベリサインがすべて解決

応用リソースマネジメントは、地質調査や地盤情報に特化したソフトウェアの提供、システムサポートなどを行っています。地盤調査は、建物を建てる前に必ず行わなければならない工程で、その結果によって基礎の工法や保険額などが決定されます。近年は、従来型のパッケージ開発や個別開発だけでなく、SaaS でのサービス提供にも注力し、なかでも、住宅地盤調査報告書作成システム「ReportSS.NET」は、地盤調査会社が調査数値を入力するだけで、保険会社やハウスメーカーに提出するレポートが完成する手軽さが評価され、現在業界のデファクトスタンダードとなりつつあります。

ReportSS.NET は、従来パッケージで提供していましたが、約 5 年前にウェブによる SaaS 型でも提供を開始しました。ただし、このサービスは詳細な個人情報を含むだけでなく、地質情報も含んでいるため、万一情報が流出すると地価にも影響を与えかねません。単純な ID とパスワードでの認証ではセキュリティに不安があると考え、認証セキュリティのしきみを検討し、A 社の OTP トークンを採用しました。OTP は、ユーザ ID やパスワードに加えてトークンが生成した使い捨てパスワードでログインするしくみで、毎回異なるパスワードを使うため、万一盗聴されてもログインすることはできません。そのため、極めて高いセキュリティを確保することができます。

しかし、当時は OTP のシステムを社内で運用していたため、リソースの負担が大きく、また OTP トークンの品質にも課題がみられたため、2009 年に認証のしきみをリプレースすることに決めました。

信頼性や実績を評価

ベリサインともう 1 社で比較検討し、最終的に 2010 年 2 月、全世界での OTP 採用実績や運用も含めたトータルのコストなどを評価し、ベリサイン アイデンティティプロテクション (VIP) オーセンティケーションサービスの OTP を採用しました。「ベリサインは、既に SSL サーバ証明書などを利用しており、信頼していました」と、応用リソースマネジメント株式会社 ジーアイエス事業部 事業部長 大和 哲氏は話しています。



「ベリサインのセキュリティソリューションをトータルで利用したいと考えています。時代をとらえた新しいソリューションを期待しているので、どんどん活用していきたいですね」

応用リソースマネジメント株式会社
ジーアイエス事業部 事業部長
大和 哲 氏

ソリューションの概要

業種

ソフトウェアの開発・販売、ソフトウェアサービスの提供

課題

- 利用中の OTP の品質や運用負荷
- ソフトウェアトークンやスマートフォンなどでもワンタイムパスワードを利用したい

ソリューション

ワンタイムパスワード認証

導入サービス

- ベリサイン アイデンティティプロテクション オーセンティケーションサービス

応用リソースマネジメント株式会社

応用リソースマネジメントは、地質・地盤調査会社の大手である応用地質株式会社の情報システム子会社として 1991 年に創立。地質調査や地盤情報に関するソフトウェアの企画・開発、販売、システムサポートなどを実施している。近年は SaaS によるサービスにも力を入れており、住宅地盤調査報告書作成システム「ReportSS.NET」は、業界のデファクトスタンダードとなりつつある。

<http://www.oyorm.co.jp/>





CASE STUDY

ペリサインの OTP は、多様なデバイスに対応したトークンが提供され、状況に応じて最適なトークンの選択が可能となっています。大和氏はこのような点も評価ポイントだったと語っています。「Internet Explorer のツールバーで利用できるソフトウェアトークンは、個人情報管理などのためにデバイスの持込に厳格な規定があるコールセンターなどでも利用でき、デバイスがない分安価に提供できます。海外の業者に作業をアウトソースする際なども、トークンを発送する手続きが大変なので、ソフトウェアトークンが利用できるのは大変助かります。また、スマートフォンで利用できるのもいいですね。地盤調査では、確かにその場所で調査を行ったことを証明するため、調査結果に GPS データを添付したいという要望もあります。スマートフォンなら、あらかじめ GPS 機能を装備しているので、現場で調査したことを比較的簡単に証明可能です。そこで、まもなくスマートフォンを使って現場で入力できるサービスを開始する予定です」。

故障がなく、運用負荷も大幅に軽減

ReportSS.NET は、PHP と WDSL で開発しており、DB との連携は SOAP といった現在の典型的なウェブシステムです。大和氏は、実際にウェブシステムにペリサインの OTP サービス API を実装した感想として「API がしっかりしていて、サポートがよかったですので、開発も非常にスムーズに進み、約 1 ヶ月で完成しました」と評価しています。

同社は 2010 年 6 月から新認証システムを利用開始。既存顧客を多く抱えていたことから 9 月末日まで並行運用を行いました。最初にペリサインの OTP を使用した認証を実施し、万一稼動しない場合は従来のシステムで認証を行うという方式で、お客様の利便性をそこなわない万全の対策を施しましたが、混乱もなく移行がすすみ最終的に 2010 年 10 月 1 日には、旧認証システムを完全に停止させています。

運用を担当したジーアイエス事業部 営業部 課長 秋葉照弘氏は、「とにかく、故障がまったくないことに感激しました。以前のトークンは毎週のように故障があり、いつもひやひやしていました」と語っています。

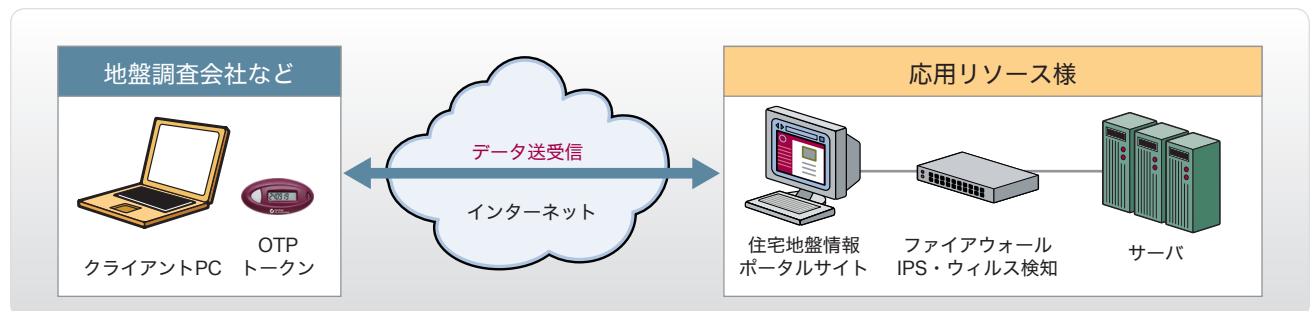
また OTP は、使用していてタイミングのずれが生じてきた際にリセットをかける必要がありますが、以前のシステムは社内で運用していたため、リセット作業のためにお客様に電話口で待ってもらうなど、手間もかかりお客様にもご迷惑をおかしていました。しかし、その手間がなくなったと秋葉氏は、「今はペリサインのリセット用ウェブサイトを紹介するだけで、後はお客様ご自身で簡単にリセットしていただけるようになり、非常に楽になりました。また、新規のお客様の追加も、非常に簡単です」と評価しています。お客様からのお問合せに対しても、従来は電話での個別対応にそれぞれ 10 分程度かかっていたところが、メールでウェブサイトやサポートコンテンツをご紹介するだけで対応できるので、サポート業務の負担も大きく軽減されました。

応用リソースマネージメントでは、ReportSS.NET で出力している PDF 形式のレポートに、出所や改ざんされていないことを証明するコードサイン証明書をつけることを計画しています。「ペリサインは、いろいろなセキュリティソリューションをワンストップで提供しているので、当社のサービスの価値を上げるためにも、トータルで利用したいと考えています。時代をとらえた新しいソリューションを期待しているので、どんどん活用していきたいですね」（大和氏）。



「とにかく、故障がまったくないことに感激しました。運用が楽になり、新規のお客様の追加も、非常に簡単になりました」

応用リソースマネージメント株式会社
ジーアイエス事業部 営業部 課長
秋葉 照弘 氏



事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を保証するものではありません。本紙に記載された情報や数字その他の内容については万全の注意を払っておりますが、万一本紙に記載した情報に起因して問題や損害が生じた場合であっても当社はいかなる責任も負担いたしませんのでご了承ください。
Copyright ©2011 VeriSign Japan K.K. All rights reserved.
シマンテック (Symantec)、ノートン (Norton)、およびチェックマークロゴ (the Checkmark Logo) は米国シマンテック・コーポレーション (Symantec Corporation) またはその関連会社の米国またはその他の国における登録商標、または、商標です。
ペリサイン (VeriSign)、ペリサイン・トラスト (VeriSign Trust)、およびその他の関連するマークは米国 VeriSign, Inc. またはその関連会社の米国またはその他の国における登録商標、または、商標です。
その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。

日本ペリサイン株式会社
<https://www.Verisign.co.jp/>
 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1
 Tel : 03-3271-7013
 E-mail : vip-info@verisign.co.jp

